

が多くの写真とともに分かりやすく説明してあります。きっと、身近な自然の中から素敵な世界が広がると思います。購入希望の方は宮日文化情報センターへお問い合わせください。

(本多 栄喜)

書名：『写真で見る宮崎県の地学ガイド』

著者：足立富男

印刷：宮日文化情報センター（0985-27-4737）

定価：2,000円

その他

[本の紹介]

書名：『写真で見る宮崎県の地学ガイド』

本を手にとると、無意識のうちにパラパラとページをめくっていました。地質学をかじったことのある人もそうでない人も、自然がつくり出す絶景美に必ず目がひきつけられてしまうことでしょう。この本は、絶景・珍景が満載で、いずれの写真も大変綺麗で鮮明です。

そして知らぬ間に、「この絶景はどのようにしてできたのだろう」と、ふと頭に浮かんだ疑問を解決するために、解説文が目を追っています。解説は平易な語句を用い、地質用語は項目やコラムで説明を加えてあるので、誰でも理解することができると思います。

宮崎県は、ダイナミックなプレートの動きを教えてくれる付加体や変成岩類、登山家にも大人気の祖母山や霧島・高千穂などの地質、九州最古の地質（五ヶ瀬町鞍岡の祇園山）から第四紀にできた新しい地質など、貴重な地質の宝庫です。地質項目別に検索することもできるので、特に地質を勉強し始めた学生さんにはお薦めです。また、地区名での検索もでき、簡単な道案内等もあるので、観光目的としても行きたい場所へ足を運ぶことが容易です。

著者である足立富男先生は、物理・地学の教員を34年間勤められ、その後は約24年間宮崎県土地分類基本調査員として地質調査に携わられました。この本には「一人でも多くの方が自然に接して欲しい」という足立先生の願いが込められています。先生の豊富な人生経験をもとに、宮崎県の豊かな地質

[会誌 153号表紙写真の訂正]

熊本地学会誌 153号の表紙写真は、熊本市役所前に設置された地下水水位計で、私が映した他の数枚の写真と共にパソコンに取り込んで研究に利用していました。なお取り込んだときに写真の水位計以外を切り取っていました。これは熊日発行（平成7年）のくまもと自然大百科の55ページに掲載されているものの一部です。今回の表紙写真を選ぶときに、わたしの不注意から私が写したものと誤認して掲載してしまいました。熊日には4月に連絡し、謝罪しましたが、地学会や会誌配布先の方々にもご迷惑をかけ、誠に申し訳なく深くお詫びいたします。なお写真の撮影日を2009/11/4としましたが、発行日の少し前とと考えていただいたらとおもいます。

(田村 実)

発行所	
熊本地学会誌	No.154
熊本市黒髪2丁目	熊本大学教育学部
地学研究室内	熊本地学会
TEL096-342-2539	振替 01960-2-5359